

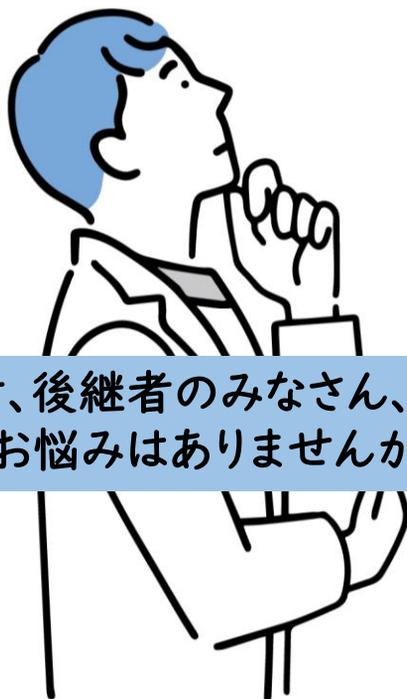
栃木県

チームイノベーション実践プログラム2025 最高の商品とチームをつくる9か月間

栃木県では、変化する社会経済環境においても、自らを改善し、成長し続ける企業を創出・育成するためのプログラムを実施します。県を代表する魅力ある企業への変革を支援します。ともに、一步を踏み出しませんか？

社内が連携できてない。
コミュニケーションも
足りてない。

うちだからこそできる
商品・サービスに
できないものか…？



経営者、後継者のみなさん、
こんなお悩みはありませんか？

仕事のしかたが
中々、変わらない。
採用も厳しくなってるし。

自分ひとりで、
考えるのも限界がある。

9か月で、あなたの会社にあった変化の起こし方を見つけませんか？

自社商品が強くなる

商品の魅力を引出す
強みの特定メソッド

IT活用支援

自社にあったツールで
商品データをおさえる

チームが強くなる

対話の進め方
個人の想いの共有

プログラムの紹介動画
R6年度の参加者コメント入りです。
ぜひ、ご覧ください！



事前説明会

参加企業の募集にあたり、事前説明会を開催します（参加無料）。過去参加者からの情報提供もあります。ご興味のある方はQRコードもしくはURLよりお申し込みください。

1回目

【日時】令和7年5月28日（水）14:00～16:30

【場所】県庁 研修館 202研修室

【ゲスト】仲山商事・社長 仲山貴士さん（R4年度参加）

2回目

【日時】令和7年5月29日（木）13:00～15:30

【場所】県庁 昭和館 多目的室3

【ゲスト】小林縫製工業・社長 小林 雄一さん（R3年度参加）



事前説明会の
お申し込みはこちら

事前説明会参加のお申し込み：<https://tochigi-network.com/event/2783>

■“チームイノベーション実践プログラム”とは？

栃木県は、刻々と変化する社会経済環境において、自社の事業、組織を自ら改善し、成長し続ける企業を育成する支援プログラムを2021年にスタートしました。それが、“チームイノベーション実践プログラム”です。

目の前で起こる環境変化に対応するだけでは、価値のある商品・サービス、その先にある魅力的な仕事（雇用）を地域に提供しつづけていくことはできません。

自社の強みを活かして、変化し続ける企業になっていくために、

- ・会社が誇る商品・サービスの革新（一品）
- ・ともに変化をつくりだすチームをつくる組織風土改革
- ・効果的なIT活用による生産性（仕事のスムーズさ、インパクト）向上

をテーマに、県を代表する魅力ある企業への変革を支援します。

プログラムに取り組む企業の変革を支援すること、その変革のプロセスを県の他の事業者にも広く発信し、栃木県の中小企業等の発展を促し、支援していきたいという想いがつまっています。

R7年度は、これまでのプログラム参加者との連携をオープンセミナーや同窓会などでより深め、互いに刺激を与えあいながら、より大きな動きをつくっていきたいと考えています。



■何を実践するのか？

自社商品・サービスをより支持されるよう刷新する

1
2
3

- 1 自社の歴史をふり返し、商品の起源や強みを特定する
- 2 「自社-N≒0」のNと言える商品・サービスを決めて、伸ばす
- 3 お客様に向かってトライ、分かったことから、これからの価値と品揃えを考える

事業・組織にあったIT活用で生産性をアップする

4
5
6

- 4 商品・サービスの課題からITを活用するテーマを設定する
- 5 社内にあるツール、ある技術でまず1回、解決してみる
- 6 さらに発展させるIT活用のテーマを設定する

チームワーク・主体性をより高める

7
8
9

- 7 改めて、チームメンバーの人となり持ち味・個性を知り合う
- 8 分業の“いつもの役割”を越えて一緒に考え、トライして、ふり返る
- 9 自分たちが変化していくのに必要な原則を決める

主な取組み

ポイント

選ぶのはお客様

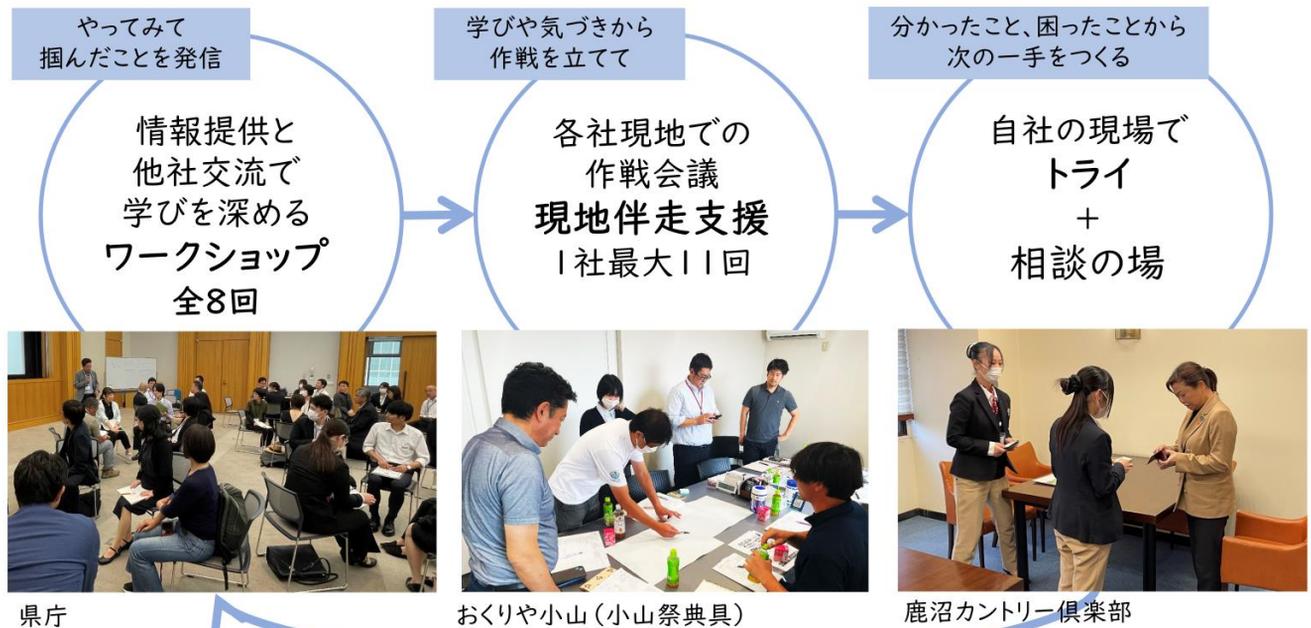
商品を通してお客様と直接やりとりして、価値を実感します。

商品サービスにデータから着目！
ツールや進め方は一緒に考えます。

役割を越えて、自分の想いを出し合います。
社内で、こまめな相談が大事！

これまでと同じやり方では、同じ結果になるもの。一緒に変化をつくりだしていきましょう。

■プログラムの流れは？



このプログラムで大事にしていることは、“まず、やってみる”こと。これは、多くの参加企業のみなさんの気づきでもあります。R7年度も、より“売ってみる”“価値を発信してみる”ことからの学びを得て、商品を磨くことに繋げていきます。

■プログラムの支援体制は？

- ・栃木県 産業労働観光部 経営支援課
- ・スコラ・コンサルト、NTTデータ フィナンシャルテクノロジー

ほか

上記メンバーが、多面的な支援をするために、フォーメーションを組んで、参加企業を温かく、ときに厳しくサポートします。どんどんご相談ください。



■よく聞かれる質問やご心配

県庁に1日行くのが
中々、厳しいのですが…。

代表者と1-2名がワークショップ(県庁での集合型)に参加し、2時間程度で実施する現地支援に他メンバーに加わっていただくのがオススメです。

うちはサービス業、
一品が、ピンと来にくい…。

商品・サービスの何かを特定して、活動することで、より強みが見えてきます。「これかもな…」と思う商品・サービスをぜひ考えて、ご参加ください。

メンバーだけでの参加は、
可能でしょうか？

意思決定が必要な場面もありますので、経営層の方の参加を、お願いしています。

ITの知識がありません。
大丈夫でしょうか？

スマートフォンのLINEも問題解決に有効であれば、立派なツール。知識やツールありきでなく、各社に適したツールを選んで進めるので、ご安心ください。

他にも不明点があれば、お気軽にご相談ください。一緒にいい方法を考えていきます。

プログラムの年間スケジュール ※予定※

5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月

● ● ●
事前 応募 支援企業
説明会 締切 決定
5/28 6/12 6/20
5/29

集合型ワークショップ(全8回)

7/2 7/29 9/11 9/30 10/29 11/18 12/9 1/15 2/5

成果発表



現地伴走支援(各社上限11回)

※3週間~1ヶ月に1回程度で訪問

経営革新計画策定

※プログラム期間中に過去参加者と“一品”を中心に交流する同窓会や自由参加のモデル事例セミナーなども企画します!

支援対象企業

次の要件を全て満たす企業の方、ぜひ、ご一緒しましょう!

- 小売り、物販、専門店、製造小売り、飲食、宿泊等いずれかのサービス事業者
- 従業員数5名以上で、経営者と従業員で構成するチームによるサービス向上を図りたい県内中小企業者等である
- チームによる主体的活動を通して、自社商品・サービスの革新やIT活用に取り組む熱意がある
- プログラムの全てにチームで参加が可能

支援企業数

10社程度

参加費用

1社あたり2万円

■こんな方にオススメのプログラムです!

- ・自社ならではの強みを磨き、本業のビジネスを強くしたい経営者の方
- ・社員のアイデアや力を活かして、業績を上げたい方
- ・自分でできる成長はやってきた、次の成長ステージのための支援を探している方
- ・チームワークを高めたい経営者の方
- ・変化するための新しい取組を社内に導入したいと考えている方
- ・顧客企業への伴走支援のしかたを学びたい経営指導員の方

■参加企業・メンバーの声(R6年度)

- ・やってみて、実際に結果が出せたのが嬉しい。プログラムで学んできたことが、売場や接客にいかせてきたと思う。(店長)
- ・これまで中々、活動が続かなかった。成果が出ているのは、プログラムに参加して「一品としてやろう!」となったときに、みんなに賛同してやってもらったのが大きい。(店長)
- ・自分はそんなに積極的なタイプじゃないけど、プログラムに参加してすごく積極的になったと思います。(若手社員)
- ・自分たちではうまく着手できなかった他社分析やシェアの目標設定ができ、新たなモノの観方を得られた。(経営者)

■お問い合わせ

栃木県産業労働観光部経営支援課 商業活性化担当

TEL:028-623-3175 FAX:028-623-3340

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20 県庁本館6F南側

e-mail:syougyou@pref.tochigi.lg.jp